

部長会議

日時：令和5年2月8日(水)

午後1時～

場所：市役所4階 庁議室

1 市長の話

施政方針、来年度当初予算の概要がまとまった。施政方針については、社会情勢を勘案し直前まで調整する。内容として市長就任1期目から4年間で政策が動き始めたこと、2期目はそれを加速していくということを記載している。

予算配分については子ども、教育に特化している。実施計画の策定段階が選挙と重なったことや、国、県、近隣市町の状況も考慮する必要があったため、2月の最終段階まで事業の取捨選択をした。担当の皆さんには大変負担をかけたと思っている。皆さんの協力があり、予算を組むことができた。感謝申し上げたい。

今回の当初予算では、財政基金を5億円取り崩している。最終的に施行段階で戻していきたいが、例年、年度末に光熱水費や委託料の戻りがあったなか、令和4年度は戻りが悪くなっていることを考慮し、余裕をみて5億円を取り崩した。過去の貯金はこういった厳しい状況で使うものである。

これまで、財政収支をゼロに戻すのが目標であったが、これからは施策を実行するためにどうすべきか協議をしていきたい。予算を編成することが目的ではないので、実行して成果を出すことを重視する。

まずは3月議会で予算を認めていただくために、しっかり準備をお願いしたい。

2 通知及びお知らせ

(1) 令和5年度施政方針及び当初予算の概要について(総合政策部) 【資料1】

本日は予算概要、予算編成について、特に説明をする。

・ 予算規模について、一般会計は568億5,100万円となっており、前年度から約13億3,500万円減少している。しかし、前年度は借換債の額が大きかったため、それを除けば予算の規模としては増えている。

・ 歳入については、新型コロナウイルスの影響下から経済回復が進んでおり、市税収入が197億7,790万円(前年度+1億1,814万円)となった。また、繰入金について、公共施設の光熱水費の高騰が顕著に出ており、今年度については財政基金から5億円を繰り入れることとした。

- ・歳出は総務費が基金管理事業やみつなかホール舞台機構改修、本庁舎の光熱水費等で増となっている一方、本庁舎の空調・照明設備の更新や、市長選挙及び市議会議員選挙経費が今年度はないため減となっており、全体では約2,300万円の増となっている。民生費は全体で約8億7,000万円の増となっている。また、教育費は中学校給食運営経費や、教育施設光熱水費の高騰で約3億円の増となっている。
- ・市債の借入れ状況について、一般会計、特別会計合わせて、令和4年度の補正予算と比べて約37億4,000万円の減となっている。
- ・市債残高は一般会計、特別会計合わせて約703億円であり、令和4年度の補正予算と比べて約32億円の減となっている。臨時財政対策債の減額が大きな要因となっている。
- ・積立としては土地の売却収入、ふるさとづくり寄附金の収入見込みを積み立てることとしており、令和5年度の基金残高は49億4,358万円となる。
- ・令和5年度行財政改革の取り組みによる予算への反映は842万となっている。令和元年度から3年間で事業再検証を行ってきたが、令和5年度の予算への影響額は6,999万円となっている。
- ・職員定数管理計画について、令和5年度の見込みは上下水道局を除く正職・再任用職員数は昨年度より14名増え、1,064人となっている。令和5年度には適正な業務量を把握し、業務量に適した職員数管理を行う。また、労働人口の減少に合わせた体制整備が必要である。令和6年度には新たに総合計画が始まるため、これに合わせた定数管理計画も策定していきたい。

(2) 令和5年第1回市議会（定例会）の提出議案について（総務部） 【資料2】

- ・当初予算を前にし、通常の議案をその後ろから議案番号をとる方法に今年から変更している。
- ・35件の議案を上程する。

* 次回部長会議予定 令和5年3月16日（木）午前9時～